

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2020年2月14日

【四半期会計期間】 第97期第3四半期（自 2019年10月1日 至 2019年12月31日）

【会社名】 小池酸素工業株式会社

【英訳名】 KOIKE SANSO KOGYO CO.,LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 小池 英夫

【本店の所在の場所】 東京都江戸川区西小岩三丁目35番16号  
（同所は登記上の本店所在地であり、実際の本社業務は「最寄りの連絡場所」で行っております。）

【電話番号】 03（3624）3111（代表）

【事務連絡者氏名】 代表取締役副社長執行役員管理部長 富岡 恭三

【最寄りの連絡場所】 東京都墨田区太平二丁目10番10号ユナイトビル錦糸町3階

【電話番号】 03（3624）3111（代表）

【事務連絡者氏名】 代表取締役副社長執行役員管理部長 富岡 恭三

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所  
（東京都中央区日本橋兜町2番1号）  
小池酸素工業株式会社 城北支店  
（埼玉県川口市領家三丁目10番19号）  
小池酸素工業株式会社 千葉支店  
（千葉県市原市八幡海岸通47番地）  
小池酸素工業株式会社 京浜支店  
（神奈川県横浜市鶴見区元宮二丁目4番55号）  
小池酸素工業株式会社 名古屋支店  
（愛知県名古屋市瑞穂区牛巻町12番地9）  
小池酸素工業株式会社 大阪支店  
（大阪府東大阪市高井田西三丁目8番19号）

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第96期 第3四半期 連結累計期間	第97期 第3四半期 連結累計期間	第96期
会計期間	自2018年4月1日 至2018年12月31日	自2019年4月1日 至2019年12月31日	自2018年4月1日 至2019年3月31日
売上高 (百万円)	33,134	32,187	46,217
経常利益 (百万円)	632	772	1,212
親会社株主に帰属する四半期 (当期)純利益 (百万円)	149	334	514
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	91	811	155
純資産額 (百万円)	31,304	31,848	31,372
総資産額 (百万円)	55,395	55,229	55,274
1株当たり四半期(当期) 純利益 (円)	36.22	80.74	124.40
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	52.58	53.62	52.80

回次	第96期 第3四半期 連結会計期間	第97期 第3四半期 連結会計期間
会計期間	自2018年10月1日 至2018年12月31日	自2019年10月1日 至2019年12月31日
1株当たり四半期純利益 (円)	11.38	24.89

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### 2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

### 2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

#### (1) 財政状態及び経営成績の状況

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米国と中国の貿易摩擦や英国のEU離脱問題が世界経済に与える影響が懸念され、先行きは不透明な状況が続きました。

一方、わが国経済は、雇用情勢の改善や個人消費の持ち直しが見られましたが、世界経済の不確実性が懸念され、景気の先行きは予断を許さない状況で推移しました。

当社グループの主需要先である建設業界では需要に回復の動きが続きましたが、産業機械業界・造船業界では市況が低調に推移し、厳しい状況で推移しました。

このような状況のもと、当社グループは世界市場での顧客満足の実現に向けた拡販活動の推進や収益力の強化に取り組んでまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の財政状態及び経営成績は以下のとおりとなりました。

#### 財政状態

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は552億29百万円で、前連結会計年度末比44百万円の減少となりました。

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は233億81百万円で、前連結会計年度末比5億20百万円の減少となりました。

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は318億48百万円で、前連結会計年度末比4億75百万円の増加となりました。

#### 経営成績

当第3四半期連結累計期間の売上高は321億87百万円（前年同期比2.9%減）、営業利益は5億74百万円（同14.9%増）、経常利益は7億72百万円（同22.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は3億34百万円（同123.2%増）となりました。

セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

#### a. 機械装置

機械装置部門においては、プラズマ切断機やレーザー切断機等の拡販活動の強化に取り組みましたが、産業機械業界・造船業界などの主需要先の市況が低調に推移したことなどにより、売上高は減少しました。

一方で、一部の海外子会社で利益率の改善が見られたことから、利益は増加しました。

その結果、売上高は123億75百万円（前年同期比1.9%減）、セグメント利益は6億11百万円（同35.1%増）となりました。

#### b. 高圧ガス

高圧ガス部門においては、医療分野では酸素濃縮器およびCPAPのレンタル契約件数が増加しましたが、産業ガスの市場動向が低調に推移したことなどにより、売上高は減少しました。

また、物流コストの増加による原価の上昇や安全対策として老朽化した容器の更新費用が発生したことにより、利益は減少しました。

その結果、売上高は121億42百万円（前年同期比1.7%減）、セグメント利益は4億47百万円（同20.5%減）となりました。

#### c. 溶接機材

溶接機材部門においては、溶接材料の需要の鈍化や溶接ロボットを中心とする大型設備の受注の減少などにより、売上高は低調に推移しましたが、機械装置との一体販売による溶接プロセス改善提案の強化やLED天井灯・メタルスライダーなどの特徴ある新商材を市場投入し拡販に努め、利益は増加しました。

その結果、売上高は70億96百万円（前年同期比3.0%減）、セグメント利益は2億65百万円（同16.8%増）となりました。

d. その他

その他の部門においては、新たな市場へ新商品のヘリウム回収精製装置を販売することができたものの、中国市場において液晶関連企業の設備投資が鈍化したことにより、排ガス処理装置関連の売上高が大幅に減少しました。

その結果、売上高は5億72百万円（前年同期比32.6%減）、セグメント利益は38百万円（同65.6%減）となりました。

(2) 経営方針・経営戦略等

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが定めている経営方針・経営戦略等について重要な変更はありません。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題についての重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間における当社グループの研究開発活動の金額は、2億43百万円であります。

なお、当第3四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

3 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定または締結等はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	17,910,000
計	17,910,000

###### 【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末現在発行数(株) (2019年12月31日)	提出日現在発行数(株) (2020年2月14日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	4,522,933	4,522,933	東京証券取引所 市場第二部	単元株式数 100株
計	4,522,933	4,522,933	-	-

##### (2)【新株予約権等の状況】

###### 【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

###### 【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金増 減額 (百万円)	資本準備金残 高(百万円)
2019年10月1日～ 2019年12月31日	-	4,522,933	-	4,028	-	2,366

##### (5)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

##### (6)【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(2019年9月30日)に基づく株主名簿による記載をしております。

## 【発行済株式】

2019年12月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 459,200	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 4,034,800	40,348	-
単元未満株式	普通株式 28,933	-	-
発行済株式総数	4,522,933	-	-
総株主の議決権	-	40,348	-

(注)「完全議決権株式(その他)」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が5,400株含まれております。また、「議決権の数」欄には、同機構名義の完全議決権株式に係る議決権の数54個が含まれております。

## 【自己株式等】

2019年12月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
中国アセチレン株式会社	山口県宇部市東須恵3903番地の3	40,100	10,000	50,100	1.11
株式会社エイ・エム・シー	東京都足立区入谷七丁目11番12号	2,000	29,200	31,200	0.69
ケーエム酸素株式会社	茨城県つくばみらい市谷井田504番地1	800	600	1,400	0.03
小池酸素工業株式会社	東京都墨田区太平二丁目10番10号ユナイトビル錦糸町3階	376,500	-	376,500	8.32
計	-	419,400	39,800	459,200	10.15

(注) 1. 他人名義として所有している株式は、取引先による持株会「小池酸素工業取引先持株会」(東京都墨田区太平二丁目10番10号ユナイトビル錦糸町3階)名義のうち、相互保有株式の持株残高を記載しております。  
2. 当社は、2019年7月25日付で譲渡制限付株式報酬としての自己株式8,500株の処分を実施いたしました。

## 2【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(2007年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

### 2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間(2019年10月1日から2019年12月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(2019年4月1日から2019年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、東光監査法人による四半期レビューを受けております。

## 1【四半期連結財務諸表】

## (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	8,571	8,367
受取手形及び売掛金	4 14,991	4 12,627
有価証券	330	215
商品及び製品	4,514	4,639
仕掛品	1,270	1,800
原材料及び貯蔵品	1,563	1,507
その他	879	891
貸倒引当金	242	253
<b>流動資産合計</b>	<b>31,879</b>	<b>29,795</b>
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物(純額)	4,149	4,010
機械装置及び運搬具(純額)	1,226	1,163
工具、器具及び備品(純額)	373	363
土地	9,430	9,526
リース資産(純額)	1,276	1,340
建設仮勘定	56	631
<b>有形固定資産合計</b>	<b>16,512</b>	<b>17,036</b>
<b>無形固定資産</b>		
のれん	20	19
リース資産	14	10
その他	236	232
<b>無形固定資産合計</b>	<b>272</b>	<b>261</b>
投資その他の資産	3 6,610	3 8,136
<b>固定資産合計</b>	<b>23,394</b>	<b>25,434</b>
<b>資産合計</b>	<b>55,274</b>	<b>55,229</b>



(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,715	6,599
電子記録債務	4,342	4,327
短期借入金	4,078	4,077
1年内返済予定の長期借入金	172	146
未払法人税等	188	94
賞与引当金	419	335
役員賞与引当金	71	45
受注損失引当金	10	42
製品保証引当金	173	160
建物解体費用引当金	43	11
その他	2,366	2,498
流動負債合計	18,691	17,740
固定負債		
長期借入金	634	722
役員退職慰労引当金	227	225
退職給付に係る負債	181	191
資産除去債務	23	23
その他	4,143	4,477
固定負債合計	5,210	5,640
負債合計	23,901	23,381
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,028	4,028
資本剰余金	2,354	2,351
利益剰余金	20,535	20,539
自己株式	921	901
株主資本合計	25,996	26,017
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,642	2,299
繰延ヘッジ損益	1	-
土地再評価差額金	868	868
為替換算調整勘定	454	209
退職給付に係る調整累計額	223	219
その他の包括利益累計額合計	3,187	3,596
非支配株主持分	2,188	2,233
純資産合計	31,372	31,848
負債純資産合計	55,274	55,229

## ( 2 ) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	33,134	32,187
売上原価	24,192	23,324
売上総利益	8,941	8,862
販売費及び一般管理費	8,442	8,287
営業利益	499	574
営業外収益		
受取利息	18	24
受取配当金	97	103
受取賃貸料	143	143
持分法による投資利益	41	34
物品売却益	32	29
貸倒引当金戻入額	6	-
その他	65	81
営業外収益合計	404	416
営業外費用		
支払利息	53	57
賃貸費用	36	38
為替差損	169	79
その他	13	42
営業外費用合計	272	218
経常利益	632	772
特別利益		
固定資産売却益	44	0
投資有価証券売却益	0	-
関係会社清算益	4	-
その他	0	1
特別利益合計	49	2
特別損失		
固定資産除売却損	12	8
減損損失	40	0
投資有価証券評価損	39	-
建物解体費用引当金繰入額	84	-
その他	2	0
特別損失合計	179	9
税金等調整前四半期純利益	501	764
法人税、住民税及び事業税	235	262
法人税等調整額	50	74
法人税等合計	285	337
四半期純利益	216	427
非支配株主に帰属する四半期純利益	66	92
親会社株主に帰属する四半期純利益	149	334

## 【四半期連結包括利益計算書】

## 【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	216	427
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	99	667
繰延ヘッジ損益	-	1
為替換算調整勘定	8	281
退職給付に係る調整額	33	3
その他の包括利益合計	124	383
四半期包括利益	91	811
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	22	743
非支配株主に係る四半期包括利益	68	67

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

1 保証債務

連結会社以外の会社の金融機関等からの借入に対し、債務保証を行っております。

前連結会計年度 (2019年3月31日)		当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)	
関西総合ガスセンター(株)	48百万円	関西総合ガスセンター(株)	42百万円
コイケカuttingアンドウェル ディング(インド)(株)	64	コイケカuttingアンドウェル ディング(インド)(株)	69
計	113	計	111

2 受取手形裏書譲渡高

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
受取手形裏書譲渡高	15百万円	66百万円

3 資産の金額から直接控除している貸倒引当金の額

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
投資その他の資産	46百万円	65百万円

4 四半期連結会計期間末日満期手形、電子記録債権及び電子記録債務

四半期連結会計期間末日満期手形、電子記録債権及び電子記録債務の会計処理については、手形交換日等をもって決済処理をしております。なお、当四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形、電子記録債権及び電子記録債務が四半期連結会計期間末日残高に含まれておりません。

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
受取手形	571百万円	238百万円
電子記録債権	39	81
支払手形	0	-
電子記録債務	88	87

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
減価償却費	1,098百万円	1,141百万円
のれんの償却額	13	8

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年6月27日 定時株主総会	普通株式	289	70	2018年3月31日	2018年6月28日	利益剰余金

当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年6月26日 定時株主総会	普通株式	331	80	2019年3月31日	2019年6月27日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	機械装置	高压ガス	溶接機材	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	12,612	12,357	7,315	32,284	849	33,134	-	33,134
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-	-	-	-
計	12,612	12,357	7,315	32,284	849	33,134	-	33,134
セグメント利益	452	563	227	1,243	111	1,354	855	499

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、燃烧式排ガス処理装置、ヘリウム液化機の製造・仕入・販売が含まれております。

2. セグメント利益の調整額 855百万円には、セグメント間取引消去122百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用 1,018百万円、棚卸資産の調整額40百万円、その他の調整額 0百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

報告セグメントに配分された減損損失はありません。報告セグメントに配分されていない減損損失計上額は、40百万円であります。

当第3四半期連結累計期間（自 2019年4月1日 至 2019年12月31日）  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	機械装置	高压ガス	溶接機材	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	12,375	12,142	7,096	31,614	572	32,187	-	32,187
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-	-	-	-
計	12,375	12,142	7,096	31,614	572	32,187	-	32,187
セグメント利益	611	447	265	1,324	38	1,363	789	574

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、燃烧式排ガス処理装置、ヘリウム液化機の製造・仕入・販売が含まれております。

2. セグメント利益の調整額 789百万円には、セグメント間取引消去73百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用 925百万円、棚卸資産の調整額66百万円、その他の調整額 4百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
1株当たり四半期純利益	36円22銭	80円74銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益 (百万円)	149	334
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期 純利益(百万円)	149	334
普通株式の期中平均株式数(千株)	4,138	4,143

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 2【その他】

該当事項はありません。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2020年2月13日

小池酸素工業株式会社

取締役会 御中

東光監査法人

指定社員 業務執行社員	公認会計士	勝 伸一郎	印
指定社員 業務執行社員	公認会計士	中島 伸一	印
指定社員 業務執行社員	公認会計士	杉本 拓司	印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている小池酸素工業株式会社の2019年4月1日から2020年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（2019年10月1日から2019年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、小池酸素工業株式会社及び連結子会社の2019年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書会社）が別途保管しております。

2. XBR Lデータは四半期レビューの対象には含まれていません。